

# 栗原 NN 通信

2021年3月19日発行 第13号

## 今年度も栗原管内において農業農村整備事業を実施しています

栗原NNでは今年度、区画整理工事6件、暗渠排水工事4件を発注しています。現在施工されている面積については、昨年度からの繰越工事を含め区画整理工事で計99.1ha、暗渠排水工事で計117.7haとなっています。

またその他、区画整理付帯工事、幹線排水路工事、揚水機場機械設備工事等も実施されています。



農地の荒整地完了状況（大目地区）



暗渠排水工事(FOEAS)施工状況（稲屋敷・袋地区）



←ソーシャルディスタンスを確保した毎朝の朝礼

→非接触型体温計、消毒用アルコール、予備マスク等の設置



今年度は、昨年度までの施工と大きく違い、新型コロナウイルス感染症に対する対策を講じながら施工しなければなりません。

どの現場においても新型コロナウイルス感染症対策を徹底した作業が行われており、毎日の入場前の検温やソーシャルディスタンスの確保、こまめなアルコール消毒等が欠かさずに行われています。

昨年度に比べて今年度は降雪が多く、作業中止となる日もしばしばありますが、春の作付けまでに農地を引き渡せるよう、当事務所では引き続き気を緩めずに工事を進めてまいります。

※前号でも紹介しましたが、各現場の現場事務所周辺において「花いっぱい運動」により、県内産の花卉が彩り鮮やかに飾られています。



## 一迫金田地区の取組について紹介します

県では、農村地域の活性化を図るため、「令和のむらづくり推進事業」により援農ボランティアの受け入れや都市農村交流活動の実施体制づくりを支援しています。

栗原市一迫金田地区では、収穫されずに残っている柿の実の活用と干し柿文化の継承を目的に地元有志団体「かねた耕楽の会」が干し柿づくりの交流イベントを企画しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、交流イベントとしての開催は中止としましたが、令和2年11月17日



みんなで干した柿

(火)、かねた耕楽の会、地元スタッフ及び関係機関からの参加者合計12名で、新型コロ

ナウイルス感染症の防止に気を配りながら、令和3年度実施予定のイベントのリハーサルを実施しました。当日は、イベントを想定した流れで干し柿づくりを行った後、来年度の開催に向けて改善点を話し合いました。かねた耕楽の会代表者の方は、「規模は縮小したが、開催してよかった。無理のない範囲で活動を継続したい。」と語っていました。

## 若柳蓬田地区の取組について紹介します

栗原市若柳蓬田地区では、棚田等の保全活動を行う農業者団体「若柳蓬田集落協定」が棚田の魅力をもっとPRしようと、写真コンテストを実施しました。「棚田となりわい」をテーマに地区内の棚田で撮影した写真を募集したところ、地域内外から93点の作品が集まり、そのうち6点が入賞作品に選定されました。令和3年1月23日(土)に表彰式が開催され、入賞者には賞状と賞品として蓬田地区で栽培されたお米や野菜が送られました。応募作品は全て、令和3年1月23日(土)から30日(土)までくりこま高原駅のオアシスセンターに展示さ



写真展の様子

れ、多くの方々にご覧いただきました。若柳蓬田集落協定代表者の方は、「改めて地元の良さが分かった。来年度は棚田の四季を感じてもらえるように企画したい。」と語っていました。

## リモート工場検査を実施しました

日本で新型コロナウイルスの感染者が確認されてから1年以上経過した今日でも、その感染状況は落ち着いていない状況にあります。

全国的には依然として関係する都府県で緊急事態宣言が発出（令和3年2月22日現在）され、緊急事態宣言対象区域との不要不急の往来は避けることなど、新型コロナウイルス感染症の予防と再徹底が呼びかけられています。

このような状況下、令和3年2月下旬、農地整備事業で施工中の揚水機場機械設備工事にかかる工場検査について、新型コロナウイルス感染症の感染リスク軽減のため、インターネットを利用したリモートによる工場検査を実施することとしました。

事務所と県外にある工場を回線で繋ぎ、遠方までの移動時間を短縮させ、新型コロナウイルス感染症へ万全の予防対策をもって、工場検査を実施することができました。

今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、このような対策を続けていく予定です。



リモート工場検査の様子

.....

発行：北部地方振興事務所栗原地域事務所農業農村整備部  
〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1  
TEL 0228-22-2111（代表） / FAX 0228-22-9284  
URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khsgsin-ns/>